

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（996））
2. 日時：平成30年5月31日 11時05分～11時08分
3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

穂藤安全審査官、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 課長 他3名

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電から、平成26年5月20日になされた東海第二発電所の設置変更許可申請について、これまでに実施された審査会合及びヒアリング等を踏まえ、当該申請書の設計基準対象施設、重大事故等対策の有効性評価、重大事故等対処設備及び技術的能力に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、本日の指摘について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・東海第二発電所 設計基準対象施設について
- ・東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価
- ・東海第二発電所 重大事故等対策の有効性評価 補足説明資料
- ・東海第二発電所 重大事故等対処設備について
- ・東海第二発電所 重大事故等対処設備について（補足説明資料）
- ・東海第二発電所 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況について
- ・東海第二発電所 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムへの対応について（別冊Ⅰ 具体的対応の共通事項）※非公開資料
- ・東海第二発電所 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムへの対応について（別冊Ⅱ 大規模な自然災害の想定 of 具体的内容）※非公開資料

- ・ 東海第二発電所 大規模な自然災害又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムへの対応について（別冊Ⅲ テロの想定脅威の具体的内容）※非公開資料